

にぎわいのある まちづくり部

遷喬スポーツ祭（ピンポン大会）

山本 尚生

試合結果は3勝1敗。

もっと上手くなって勝ちたいが、今回は娘と一緒に楽しく卓球が出来たことが嬉しかった。

私は中学時代に部活で卓球していたが、人に話すほどの経験はなかった。それから20余年。娘がスポ少で卓球を教えてもらうようになり、球拾いに付き合うようになり、妻が入門し、ラケットを買った。そして私も気付けば、石場コーチ指定の板とラバーを買い、佐藤さんに貼ってもらいマイラケットを握っていた。

平日の夕方、仕事を早く切り上げ、仕事着のまま遷喬小の体育館で10分だけでも球を打つのが楽しみになった。子どもの練習補助そつちのけで、コーチに教えてもらう動きを習得するのが面白い。中学の時より断然面白い。



あと、卓球し始めて体調が良くなった。数年前に熱中症になって以来、夏の暑さがとても辛かったが、今年は卓球で汗をかき、身体が整ったようだ。仕事もデスクワークが多いとしんどいが、卓球に來れていると体が楽だ。

鳥取市外の生まれ育ちなので、地域の皆さんも面識がなく、人見知り状態だったが、ここでお世話になり少し慣れてきたかな。同好会の皆さん、スポ少指導者の皆さん、子ども達と保護者の皆さん、そして家族。卓球がたぐ御縁に感謝したい。

子どもにやさしい まちづくり部

あいさつ運動の進め方の今後は

和田 哲昭

朝のあいさつでにぎわう登校風景は、街のにぎわいだけでなく明るい一日の始まりを感じさせます。あいさつ運動に取り組んで15年が経過しました。当初は、ほとんどの町内にご協力いただいていたのですが、本年度は22町内で当番に当たっていただきまし

た。その分当番回数を減らして、4・6・9・3月に1週間ずつ街角に立っていただいています。回数はずいぶん減りましたが、あいさつの声が交わされる風景は、すがすがしくにぎわいも感じさせます。



あいさつ運動は、当初少子化の進む地域にあって、みんなでこども達と触れ合う場として始められました。ところが、地域の高齢化と人口減少にともない、協力いただける方も減少して行きました。短時間ではあっても、朝の忙しい時間帯のため、止むを得ない面のあることも否定できないと思われま

次年度以降、どのような取り組みが良いのか今後部会で話し合いたいと思います。

3月に担当していただく町内	
3日(月)	川端1、本町2(部員)
4日(火)	川端3、職人町(部員)
5日(水)	上魚町、元魚1(部員)
6日(木)	片原2、戎町1(部員)
7日(金)	片原3、川端2(部員)
希望に満ちた 明るく元気なあいさつ	

もうすぐ卒業
進級の時を迎えます。

